

チアンフェニコール250mgカプセル

溶出試験 本品1個をとり、試験液に水900mLを用い、溶出試験法第2法（ただし、シンカーを用いる）により、毎分75回転で試験を行う。溶出試験開始90分後、溶出液20mL以上をとり、孔径0.45 μm以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液10mLを除き、次のろ液を試料溶液とする。別にチアンフェニコール標準品約0.028gを精密に量り、水を加えて溶かし正確に100mLとし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、波長266nmにおける吸光度 A_T 及び A_S を測定する。

本品の90分間の溶出率が85%以上のときは適合とする。

チアンフェニコール（ $C_{12}H_{15}Cl_2NO_5S$ ）の表示量に対する溶出率(%)

$$= W_s \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 90$$

W_s : チアンフェニコール標準品の量(mg)

C : 1カプセル中のチアンフェニコール（ $C_{12}H_{15}Cl_2NO_5S$ ）の表示量(mg)

チアンフェニコール標準品：日本薬局方外医薬品規格「チアンフェニコール標準品」